

地域コミュニティの現状について

2024.07.02

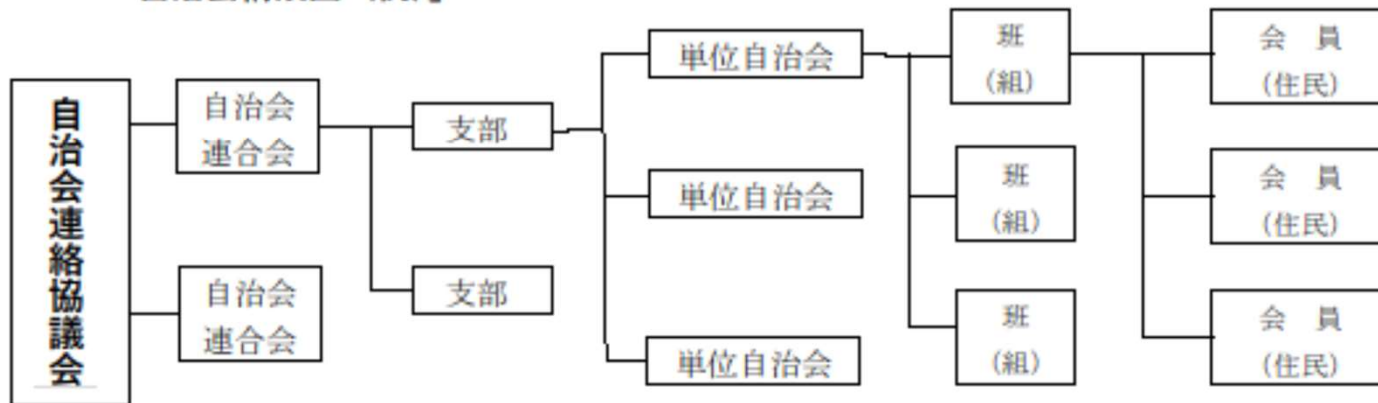
市民協働推進部

市内には50の自治会連合会が存在



その下に約2,500の単位自治会、10,000余の班で構成
(平均：単位自治会；41世帯、班；10世帯)

「自治会構成図（例）」



- ◆自治会連絡協議会
- ・50人の自治会連合会長で組織
 - ・基本1回/月、行政からの依頼事項等について審議

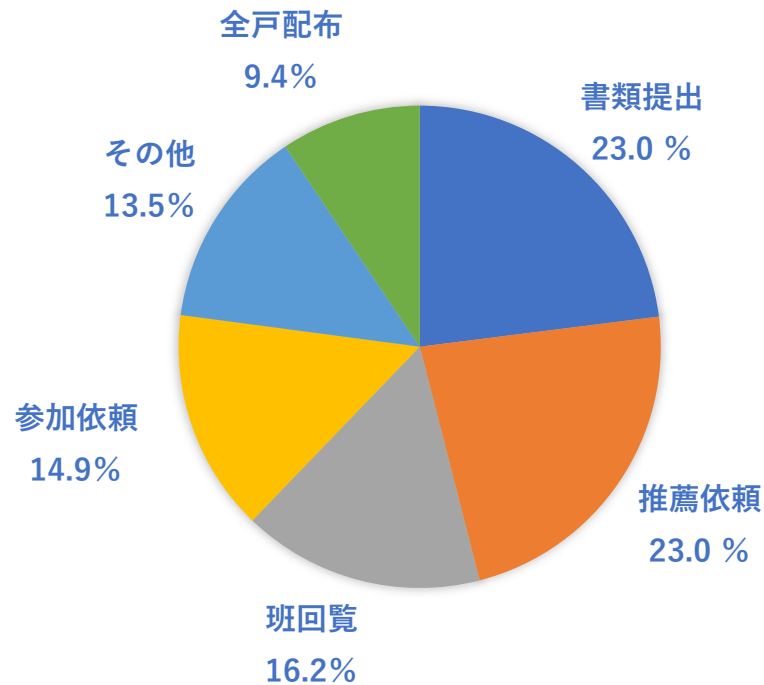
自治会連絡協議会について



自治会連絡協議会を通じての依頼事項

年間120件ほど
(R4実績(一部R3含))

出所：市民協働推進政策課集計

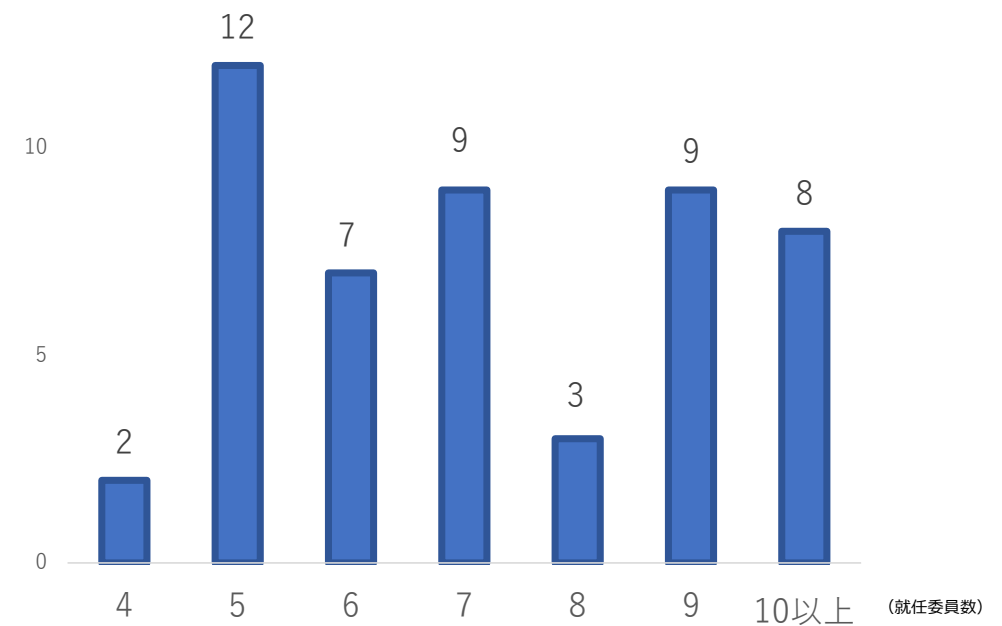


審議会等委員
就任状況

一人で複数の委員を担当されている方も

出所：市民活動交流センター集計

(人)

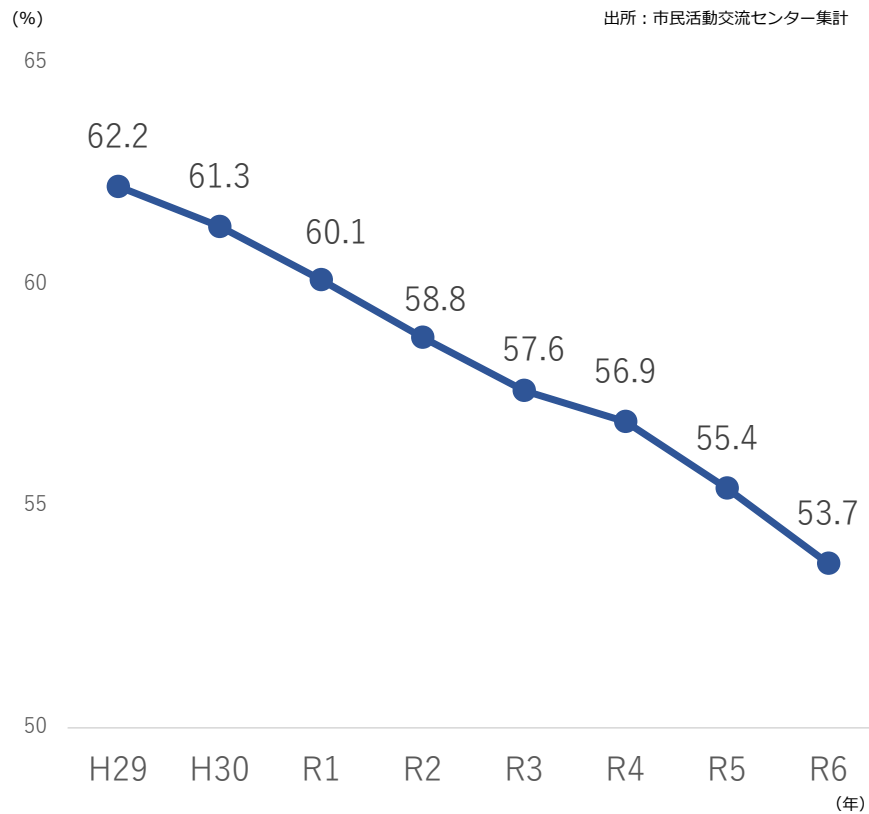


岐阜市の現状②



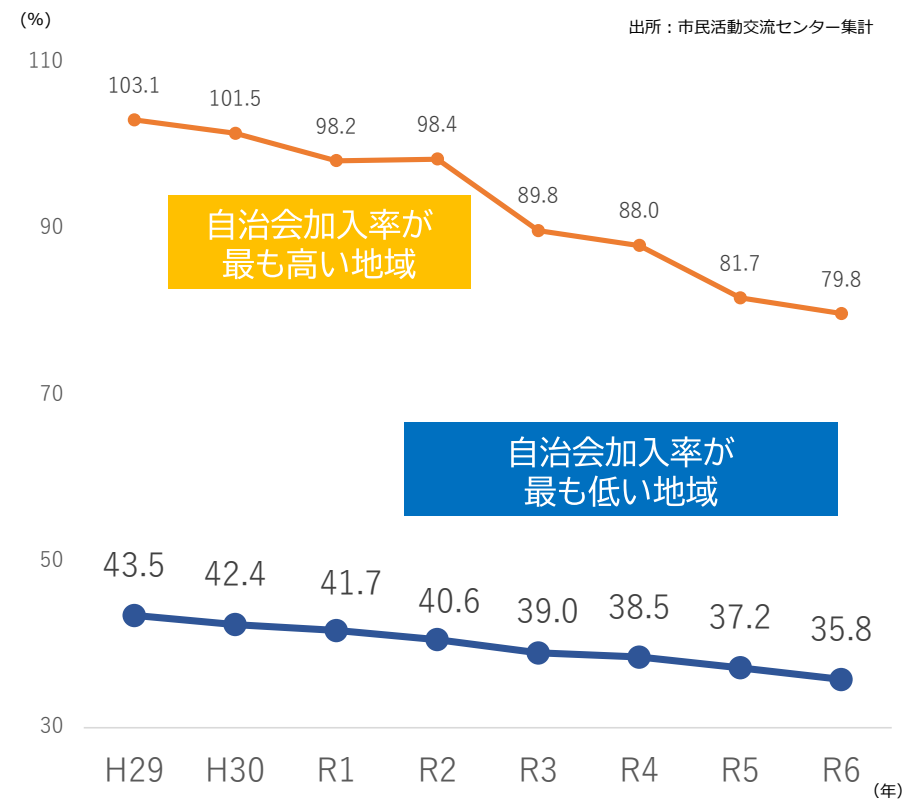
自治会加入率

年々減少



地域別自治会加入率

加入率が高い地域の下落幅が大きい

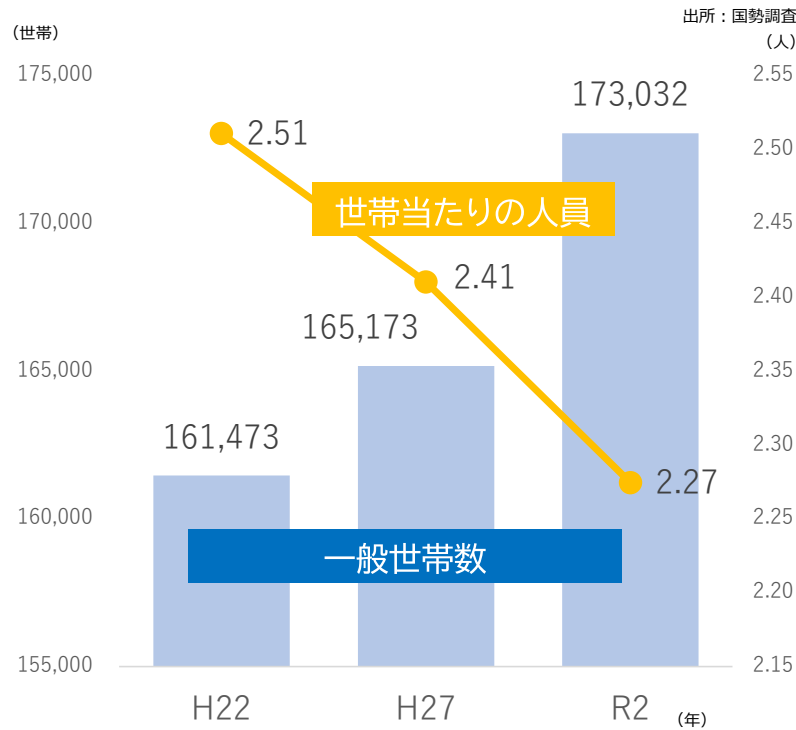


岐阜市の現状③



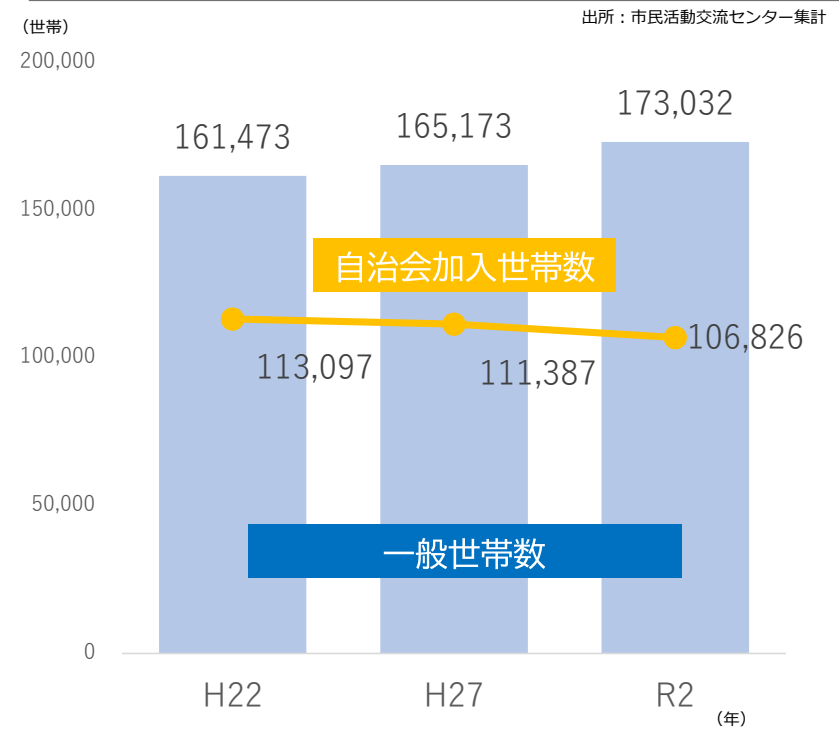
世帯数

世帯分離が進み、
家族構成がより小さく



自治会加入世帯数

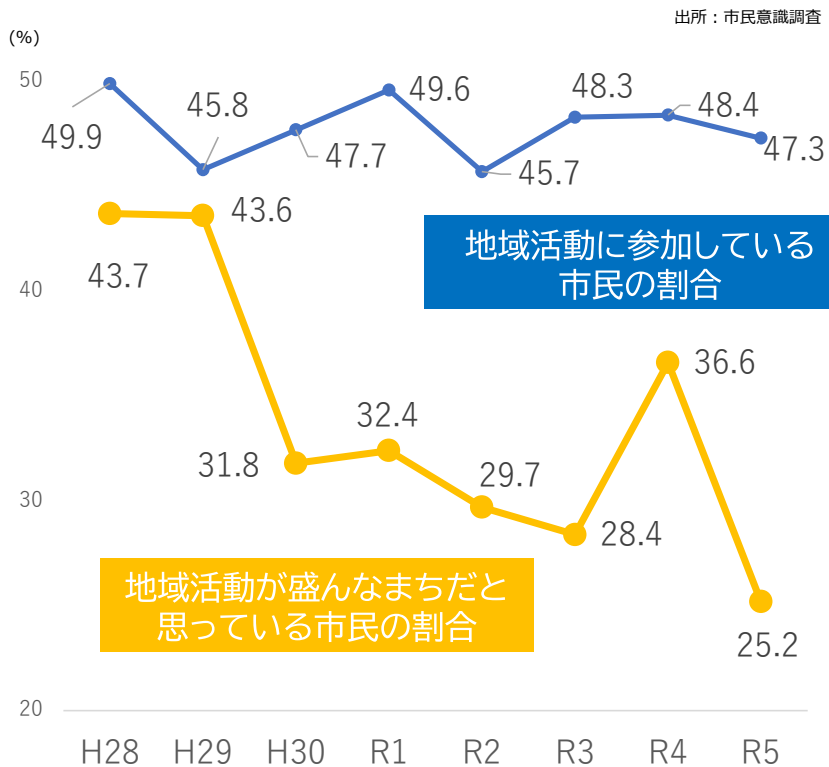
総世帯数は増加している一方、
加入世帯数は年々減少



人間関係の希薄化、担い手不足 ➡

将来的に
災害時の『共助』等にも影響が

◆市民意識調査：毎年、市民3,500人を対象に5月に実施（無作為抽出）



「地域活動に参加している市民の割合」はほぼ横ばい

- ・男女間：有意な差は見られない
- ・年齢別：50歳以上79歳以下は
ほぼ毎年、平均値を上回っている
- ・住宅構成：持ち家（一戸建て）の方は
全ての年度において平均値を上回っている

「地域活動が盛んなまちだと思っている市民の割合」は減少傾向

- ・男女間：有意な差は見られない
- ・年齢別：80歳以上は、全ての年度において
平均値を上回っている